

# 連れもていこら、和歌山へ。

## 木の国と呼ばれるほど、自然豊かな和歌山。

山々が折り重なり深い森が広がる紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる場所と考えられていました。空海が開いた聖地「高野山」、自然崇拜の神道と浄土信仰の仏教が結びつき神仏習合の霊場として人々の心のよりどころとなった「熊野三山」、それら聖地へ続く「参詣道」。「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されているこの地はいまなお人々を魅了しています。また、豊かな森を有するこの地には、豊かな森に育まれた清らかな「水」にまつわる資源や文化の魅力もたくさんあります。南紀熊野ジオパークのジオサイトでもある景勝地、橋杭岩や古座川の一枚岩、水と遊ぶアクティビティなども充実しています。

**和歌山城(和歌山市)**  
徳川御三家の一つ、紀州徳川家の居城として知られています。1585年に豊臣秀吉が弟の秀長に築城させ、桑山・浅野家を経て、1619年に徳川頼宣が入城。8代将軍徳川吉宗も居城しました。現在の天守閣は戦災後の昭和33年に再建。天守閣からは和歌山市街の大パノラマが広がります。



**旧県会議事堂(一乗閣)(岩出市)**  
和歌山城の東側に明治31年(1898)に建設された和歌山県会(現県議会)の議事堂。2度の移築を経て根来寺境内に建てられ、平成28年4月に現在の地に復原整備されました。和歌山県指定文化財。

**根来寺(岩出市)**  
日本最大の木造多宝塔の国宝・大塔や国の重要文化財である本尊像や大師堂が現存します。境内の紅葉谷と呼ばれるエリアでは、見事な紅葉を楽しむことができます。



**湯浅町重要伝統的建造物群保存地区(湯浅町)**  
醤油発祥の地、熊野古道の宿場町として栄えた湯浅の町並みは重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。



**道成寺(日高川町)**  
701年に創建された和歌山県最古の寺。数々の重要文化財が保存されています。能や歌舞伎で有名な安珍清姫伝説の舞台でも知られ、縁起堂では面白おかしく絵解き説法を聞くことができます。



**和歌山城歴史散歩(和歌山市)**  
語り部の案内により、築城から現在に至るまでの歴史や文化を知ることができます。

**醤油蔵見学(湯浅町)**  
国産原料にこだわり、昔ながらの製法で醤油を手作りしている醸造元で醤油蔵を見学できます。



**みかん狩り体験(田辺市)**  
秋津野の里で和歌山の味覚みかんの収穫体験ができます。

**熊野川川舟下り(新宮市)**  
世界遺産「川の参詣道」の舟下り。約90分の舟旅では、語り部の案内によりいしえの熊野詣を追体験しながら、奇岩、巨岩、滝など熊野の雄大な自然を体感できます。



**白浜温泉(白浜町)**  
日本三古湯として知られる白浜温泉。近くには白良浜やパンダで有名なテーマパークのほか、数々の景勝地もあり、関西を代表するリゾート地として知られています。



**橋杭岩(串本町)**  
弘法大師ゆかりの伝説も残る景勝地。大小40余りの岩柱が串本から大島に向かい約850m立ち並ぶさまは迫力満点です。橋杭岩を間近で見学できる、「橋杭岩周遊シーカヤック」も体験できます。



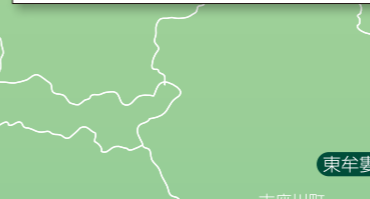
**一枚岩(古座川町)**  
古座川にそそり立つ高さ100m、幅500mの巨岩。透明度の高い南紀熊野の清流古座川とともに、季節や天候ごとに様々な表情を見せてくれます。



**熊野本宮温泉郷(田辺市本宮)**  
世界遺産の地にある温泉郷。世界遺産「つば湯」がある湯の峰温泉、川原を掘ると温泉が湧く川湯温泉、西日本最大級の露天風呂を有する渡瀬温泉と趣の違った温泉が楽しめます。



**南紀勝浦温泉(那智勝浦町)**  
県内随一の温泉数を誇る南紀勝浦温泉。巨大な岩肌が迫る洞窟温泉や静かな湾内に面した露天風呂もあり、温泉に浸かりながら眼前に広がる太平洋の絶景を楽しむことができます。



**龍神温泉(田辺市龍神)**  
役行者や弘法大師にもゆかりのある古湯。「日本三美人の湯」としても名高く、肌あたりの柔らかな湯に浸かるとつるつるでしっとりとしたお肌。



**壇上伽藍(高野町)**  
奥之院と並ぶ高野山の二大聖地のひとつ。真言密教の思想を具現化したもので、高野山の中心に位置します。高さ48.5mの根本大塔や高野山の総本堂である金堂、国宝の不動堂などが立ち並び見どころ満載。(世界遺産)



**金剛峯寺(高野町)**  
全国に3600ヶ寺余りある高野山真言宗の総本山。広大な境内には日本最大級の石庭「蟠龍庭(ばんりゅうてい)」などがあり、見応え充分。(世界遺産)



**奥之院(高野町)**  
高野山の信仰の中心であり、弘法大師入定の地。一の橋から御廟まで約2kmの道のりには、樹齢数百年に及ぶ杉木立の中に20万基を超える諸大名の墓石や慰霊碑が立ち並び、神秘的な空間を形成しています。(世界遺産)



**高野参詣道町石道(九度山町~高野町)**  
高野山麓の慈尊院から奥之院まで続く、約24kmの高野山への表参道。道しるべとして1町(約109m)ごとに石の卒塔婆が建てられています。語り部と歩く「高野山町石道歴史散策ウォーク」では、参詣道に残る数々の物語を聞くことができます。(世界遺産)



**熊野本宮大社(田辺市本宮)**  
主祭神は木の神である家津美御子大神(けつみみこのおおかみ)。杉木立を背に佇む檜皮葺きの社殿は荘厳な雰囲気から、参拝者を懐かしやかな気持ちにしてくれます。(世界遺産)



**熊野速玉大社(新宮市)**  
国生みの神として知られる、イザナギノミコト(=熊野速玉大神)とイザナミノミコト(=熊野夫須美大神)が主祭神。夫婦神を祀ることから、縁結びの神としての厚い信仰を集めています。(世界遺産)



**熊野那智大社(那智勝浦町)**  
夫須美大神(ふすみのおおかみ)を主祭神とする熊野十二所権現を祀っています。境内には、神武天皇をこの地から大和へ導いた八咫鳥が石化したといわれる鳥石などがあります。平成29年に御創建1700年を迎え、宝物殿特別展示などを実施しています。期間は平成29年12月31日まで。(世界遺産)



**那智山青岸渡寺(那智勝浦町)**  
西国三十三所霊場の第一番札所。平成30年に西国三十三所草創1300年を迎えるにあたり、記念の特別印など、特別企画を実施しています。(世界遺産)

**熊野古道「大門坂」(那智勝浦町)**  
熊野古道「大門坂」は熊野那智大社へと向かう参道です。約640mの道のりには470段ほどの石畳の階段と樹齢数百年にもなる杉木立が続き、熊野古道の中でも当時の面影を美しく残しています。(世界遺産)

